

東日本大震災で被災されました皆様に心より
お見舞い申し上げます。

また、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

～河津さくら見物～

外出ツアーで河津さくら見物を行っておりましたが、今年最後となるグループが3月4日(金)9時30分に施設を出発いたしました。

出発前に当日の昼食を予約していた食事処から「こちら河津は、今、震ですけど…、本日は、お見えになりますか？」との一報があり、施設の外を見渡すと、こちらは晴天…。半信半疑で予定通りに施設を出発すると河津に近づくと見るからに雪雲で震が降っておりました。

このような時も車窓から「春雪の桜」も見る機会が少なく参加された入居者様は、思いのほか楽しんでおられました。

車を走らせること、あつという間に昼食の時間となり予約しておりました食事処へ到着し昼食を堪能いたしました。



花より団子
「昼食」です。

昼食の後、お天気も回復し晴れ間が見えてきましたので、食事処の近くの河津桜の隠れた名所?で花見を楽しみ、花見の後には、観光センターで思い思いのお土産を購入されました。



これ、
美味しそうね。

「ウルトラ生ジュース」
美味しいね!



(株)伊豆オレンジセンター様より入居者の皆様に美味しい「踊り子饅頭」を沢山頂きました。ありがとうございました。

～エキシブ伊豆高原で喫茶タイム～



三月のお天気の良い屋下がり少しずつ日中の温度も“ぽかぽか陽気”になってまいりましたので、ドライブと喫茶タイムにお出掛けしてきました。

途中、桜の里で下車して、春の息吹を感じました。その後、エキシブでの喫茶タイム、皆様“何にしようかしら”とメニューと睨めっこをしておりましたが、やはり、大好きなアイスクリーム系のメニューに落ち着きました。



～楽しいひな祭り～

3月3日(木)桃の節句“雛祭り”を行いました。

正面に飾られた御内裏様と御雛様を眺めながら雛祭りや春よ来いなどの童謡唱歌に参加された皆様全員で合唱いたしました。合唱されている間に職員が手作り「桜もち」と「甘酒」を用意いたしました。

この手作りした「桜もち」が入居者様から“美味しいね”“もっと食べたいね”“もう、ないの?”との絶賛の声上がり、今年度の「ウェルケア・美味しいもんチャンピオン」に認定されました。



～4月の予定は～

- 4 (月) 5 (火) 7 (木) 8 (金)・花見ツアー
 - 9 (土)・アピタ買物
 - 11 (月)・やまももパン
 - 14 (土)・三島信用金庫
 - 17 (日)・松崎お花畑ツアー
 - 23 (木)・ヤオハン買物 27 (水)・美容室
 - 25 (土) 26 (火) 28 (木)・つつじツアー
- ※毎週水曜日:午前 こんがりあん(パン移動販売)・ナガヤ



～ 施設周辺情報 ～

【伊豆高原桜並木】

早いもので、陽春となり施設周辺では卯の花の盛りとなっております。

卯月と言えば、伊豆高原桜祭りの開催となりますが、今年は、東日本大震災の甚大な被害による影響や被災者の皆様のご心情を鑑みて「第32回桜まつり」イベントは中止となりましたが、これから伊豆高原周辺は、特に伊豆高原駅から続く桜並木、約3kmには、ソメイヨシノ約3000本が見頃を迎えますので、施設外出行事では「桜のお花見」を計画しております。

また、こちらへお越しの際には、是非とも、お立ち寄りいただき、見事な桜のトンネルをお楽しみ下さい。



←伊豆高原中央
桜並木十字路から
ホテル伊豆高原へ



桜並木本線→



写真は、全て昨年のものです。

【小室山公園】



小室山は、標高321m、麓から山頂まではリフトで、又は、徒歩でも登山できます。

山頂からは、房総半島や伊豆七島、天城連山などの景観を楽しむことができます。



小室山の麓には、これからの季節、赤い絨毯を一面に敷いたように咲乱れる40種類10万本の「つつじ」や1000種4000本の「椿」が4月中旬にかけて咲き誇ります。

伊豆高原の「桜並木」と一緒に「季節の花」を堪能してみても如何ですか。

右上、奥の丸い山は、大室山です。

～ 事務長のひとりごと ～

3月11日に発生しました、東日本大震災当日は、入居者様もあまり揺れを感じられなかったようで震災後、現在に至るまで普段の生活続けられております。又、施設も特に被害はございませんでした。

その後の計画停電では、3月18日と23日、共に18時20分から22時の間で実施されました。実際の停電時間は、18日が18時20分から20時20分までの2時間、23日は、18時28分頃から19時50分までの1時間30分ほど行われ、その後、停電は行われておりません。

施設では、どの時間帯での計画停電にも対応できるようなスタッフ体制（食事の場所や時間帯に差異がございますが）を整えておりますし、計画停電中に施設内外の状況を確認いたしました。バッテリー補助電源にて室内や廊下など普段と変わらない程度の明るさが確保されております。

ご家族の皆様には、安心していただきたいと思っております。

文末となりますが、東日本大震災に被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の大震災において、凶らずも犠牲になられました皆様には、衷心よりご冥福をお祈り申し上げ、被災地の一日も早い復興を祈念申し上げます。

